

読売巨人軍アカデミーコーチとのボール遊び（5歳児）

～翌日編～

今日は頂いた帽子を被ってくる子どもたちが多く、早速的当てで遊び始めていました。教えていただいたやり方を忠実に守って投げている姿から、昨日の体験での学びを繰り返していることが伝わってきます。こういう過程がその子どもの力になっていくのですね。ホームベースを書いて野球を始めたい気持ちもわかりますが、ルールを知っている子ども・知らない子どもがいるはず。ここは焦らずに、子どもたちの動きをみることに……。

すると、次は、昨日実践したティーボールを始める5歳児女児2人を発見！安全面に配慮しながら、一緒に場を整えていきました。「ナイス!」「すごい!」称賛の声が上がり、周囲にも楽しそうな雰囲気伝わっていったのでしょう。次々挑戦したい子どもたちが集まってきて、4歳児もやっていました。3歳児の中には、ボール拾いをしてくれる男児も出てきました。

子どもたちの経験が豊かになっていくように支えていくことは、保育者の大切な役割の一つです。しかし、大人の思いで進めるのではなく、あくまでも子どもたちが遊び出す方向性を読み取り、一人ひとりの思いを汲んでいくことが大切です。明日はどうなるでしょうか？このわくわく感がたまりません。

